

日 時：平成 28 年 12 月 8 日（木）14：30～17：30

場 所：日本歯科大学生命歯学部 2 階 第 1 会議室

出 席：櫻井 薫理事長、羽村 章、下山和弘 両副理事長

佐藤裕二、水口俊介、深山治久、那須郁夫、福島正義、菊谷 武、市川哲雄、菅 武雄

小野高裕、眞木吉信、石黒幸枝、松尾浩一郎、小正 裕、渡邊 裕、岩佐康行、平野浩彦

服部佳功、米山武義、山崎 裕、阪口英夫 各理事

森戸光彦、山根源之 各監事

稲葉 繁 名誉会員（陪席）

上田貴之、北川 昇、金澤 学、杉山哲也、伊藤加代子、佐川敬一朗、飯田良平、堀 一浩

潮田高志、大神浩一郎、中川量晴、高橋一也、梅本文二、森田一彦、児玉実穂、高橋賢晃

各幹事

欠 席：戸原 玄、河相安彦、片倉 朗、高井良招、角 保徳、津賀一弘 各理事

矢儀一智、伊藤誠康、小原由紀、大井 孝、玄 景華、大野友久、小林國彦 各幹事

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

各理事に学会活動に関する感謝の意と活発な討議をお願いする旨、挨拶があった。

IV. 議長選出

定款に則り櫻井理事長が選出された。

V. 確認事項

1. 定足数の確認〔定款第 32 条、理事現在数（29 名）の 2 分の 1 以上の出席〕

佐藤総務担当理事より、23 名の出席があり定足数を満たしている事が確認された。

2. 配付資料の確認

3. 平成 28 年度第 1 回理事会・第 1 回常任理事会議事録（P. 1-5）

4. 平成 28 年度第 2 回理事会議事録（P. 6-10）

5. 平成 28 年度第 3 回理事会議事録（P. 11）

6. 平成 28 年度第 4 回理事会議事録（P. 12）

7. 平成 28 年度第 5 回理事会議事録（P. 13）

8. 平成 28 年度第 6 回理事会議事録（P. 14-19）

佐藤総務担当理事より、配付資料および平成 28 年度第 1 回理事会・第 1 回常任理事会議事録、第 2 回理事会議事録、第 3 回理事会議事録、第 4 回理事会議事録、第 5 回理事会議事録、第 6 回理事会議事録の提示があり、確認を行った。

VI. 協議事項

1. 新規入会者の承認について（P. 20-21）

櫻井理事長より説明があり、新規入会者 85 名について承認された。

2. 平成 28 年度専門医認定者について（P. 22）

櫻井理事長より説明があり、専門医認定者 2 名について承認された。

3. 学術大会実施に関する規則の一部改正（P. 23-25）

佐藤総務担当理事より提案と説明があり、大会長は理事会で決定、実行委員長の任命、参加費の変更等が承認された。

4. 優秀口演賞選考申し合わせ（案）の制定について（P. 26）

水口理事より提案と文書化に関する説明があり、平成 29 年度学術大会から適用される事が承認された。

5. 優秀ポスター賞選考細則の一部改正について（P. 27）

米山理事より提案と説明があり、「一般部門」の 1 次審査を社会保険委員会委員で担当する事が承認された。

6. 「老年歯科医学研究の利益相反（COI）に関する指針」の細則の一部改正（P. 28-29）

羽村副理事長より提案と説明があり、松尾理事、市川理事、眞木理事から質問と佐藤総務担当理事から確認があり、特定の委員会にガイドライン委員会を追加する一部修正後、承認された。

7. 学術大会時における COI の確認に関する申し合わせ（案）の制定について（P. 30-32）

羽村副理事長より提案と説明があり、平成 29 年度学術大会から適用される事が承認された。さらに、上田幹事より第 28 回学術大会 HP からのアップロード方法の説明がなされた。

8. 認定医制度規則および専門医制度規則の一部改正について (P. 33)
松尾理事より広報・研修委員会の改編にともなう規則の改正について提案と説明があり、承認された。
9. 第30回学術大会以降の大会長について (P. 34-35)
櫻井理事長より、資料を基に第30回学術大会の大会長に米山理事を推薦したいとの提案があり、承認された。米山理事より準備委員長に服部理事が指名され承認された。

VII. 報告事項

1. 会務報告 (櫻井理事長)
大変活発に各委員会活動が行われている旨、報告があった。
2. 総務報告 (佐藤理事) (P. 36) (委員会資料参照 P. 2-3)
会員数は着実に増加している旨、また、会員の動向 (所属の移動) に関する報告があった。
3. 学術報告
 - 1) 学術委員会報告 (水口委員長) (委員会資料参照)
水口理事より平成28年度活動中間報告があった。ポジションペーパーとして「高齢期における口腔機能低下—学会見解論文2016年度版—」が老年歯科医学に掲載され、報道発表を行った旨。「脳卒中患者への医科歯科連携がおよぼす効果に関するガイドライン作成WG」について第6回理事会 (メール会議) にて承認されWGとしての作業に入った旨。第1回WGは1月5日 (木) 開催予定である旨、報告があった。
 - 2) 第27回学術大会決算報告 (那須理事、市川大会長) (P. 37)
市川理事より第27回学術大会についての概要と収支報告があった。那須理事より大変盛会で正確な会計の執行状況だった旨、報告があった。
 - 3) 第28回学術大会 (櫻井大会長) (P. 38-48)
資料を基に詳細なプログラムの説明があり、多数の参加をお願いする旨、報告があった。
 - 4) 第29回学術大会 (佐藤大会長) (P. 49)
資料を基に現在までの進捗状況について説明があった。
 - 5) その他
4. 編集報告 (深山委員長) (委員会資料参照 P. 4)
深山理事より、委員会開催実績と学会誌の発刊状況、平成29年度の活動予定について報告があった。今後も多数の投稿をお願いしたい旨、報告があった。
5. 財務報告 (那須委員長) (P. 5) (委員会資料参照 P. 50-52)
那須理事より、資料を基に第27回学術大会収支報告、第28回学術大会予算案・11月20日までの収支報告、平成28年度積立金収支報告があり全て順調に執行・推移している旨、平成29年度の各種委員会予算案の計上に関しては、今年中に提出してほしい旨、報告があった。
6. 各種委員会報告 (委員会資料参照)
 - 1) 教育問題検討委員会 (P. 6-25 福島委員長)
福島理事より、歯科大学・歯学部における老年歯科医学教育の実態調査 (Web 調査) の内容について資料を基に説明があった。森戸監事より使用教科書の設問に挙がっている書籍の中に絶版になり、それに代わる新刊があるので書籍リストの確認をお願いしたい旨の発言があった。また、認定制度委員会作成の「専門医研修の到達目標 (案)」、学会編纂の「教科書“老年歯科医学”の目次」および本委員会が作成した「教育基準 (2015年)」の3者の項目の整合性および不足部分を確認したことが報告された。
 - 2) 社会保険委員会 (P. 26 菊谷委員長)
菊谷理事より医療事故調査制度研修会に参加した旨、報告があった。櫻井理事長より今後も活発な委員会活動のお願いがあった。
 - 3) ガイドライン委員会 (P. 27 市川委員長)
市川理事より「認知症高齢者の歯科的対応および歯科治療のあり方」に関するガイドライン・指針の作成 (AMED 事業)、「脳卒中患者急性期および慢性期の口腔管理に関する指針」作成WGの設置準備：学術委員会との共同作業 (AMED 事業) を行った旨、報告があった。
 - 4) 在宅歯科医療等検討委員会 (P. 28-30 菅委員長)
菅理事より「在宅歯科医療の基本的考え方 2016」を日本歯科医師会へ提出、第27回学術大会においてハンズオンセミナー「口腔管理の実際2～口腔咽頭吸引の理論と実際～」を実施した旨、報告があった。

- 5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会 (P. 31 戸原委員長)
代理として飯田幹事より、摂食機能療法専門歯科医師制度は、第 28 回学術大会時の指定研修をもって暫定 期間による申請は最後となる旨、暫定期間終了後の認定審査業務方法の確定および認定資格更新方法の検討が必要である旨、報告があった。
- 6) 国際渉外委員会 (P. 32 小野委員長)
小野理事より、European College of Gerodontology (ECG)との交渉経緯について説明があり、台湾 老年歯科 医学会、韓国、その他アジアの老年歯科医学会に第 28 回学術大会への参加を呼びかける旨、また、本学会員の ECG2017 へ多数の参加をお願いしたい旨、報告があった。
- 7) 広報委員会 (P. 33-37 河相委員長)
代理として櫻井理事長より、ホームページ・English サイトの活性化、ニュースレター発行、学会一般向けパンフレットの作成、「高齢期における口腔機能低下症」の概念と診断基準の報道発表について報告があった。
- 8) 研修委員会 (P. 38-40 片倉委員長)
代理として潮田幹事より第 1 回研修会（「高齢者の服用薬からわかること、モニタリングからわかること」）を実施する旨、報告があった。
- 9) 学術用語委員会 (P. 41-42 眞木委員長)
眞木理事より老年歯科医学用語辞典（第 2 版）の紹介と普及、第 28 回学術大会でのシンポジウムの企画、新出用語の編集委員会と共同して検討、教育基準の英語版の作成を行っていく旨、報告があった。櫻井理事長より、コアカリキュラムの用語のチェックが要請された。
- 10) 歯科衛生士関連委員会 (P. 43-44 石黒委員長)
石黒理事よりセミナーの開催、第 28 回学術大会でのシンポジウム、認定歯科衛生士専門審査が実施され 5 名が合格した旨、報告された。
- 11) 認定制度委員会 (P. 45-47 松尾委員長)
- 12) 認定資格検討委員会 (松尾委員長)
- 13) 研修機関認定委員会 (松尾委員長)
松尾理事より、資料を基に認定医更新・専門医更新・研修期間申請・研修機関更新等の報告、平成 29 年 6 月 14 日 (水) に認定医試験を実施予定の旨、報告があった。
- 14) 認定試験実施委員会 (P. 48 小正委員長)
小正理事より、平成 28 年度認定医試験 (42 名受験)、専門医試験 (3 名受験)、認定医ポスタープレゼンテーションについて報告があった。
- 15) 専門医試験問題作成委員会 (P. 49 渡邊委員長)
渡邊理事より、専門医試験問題 (A、B、2 種類 (50 問)) の作成を行った旨、報告があった。
- 16) 多職種連携委員会 (P. 50-56 岩佐委員長)
岩佐理事より、特任委員会の活動の支援、日本在宅栄養管理学会との「要介護高齢者に対する口腔・栄養管理に関するガイドライン (暫定版)」のブラッシュアップ、第 6 回杉浦地域医療振興助成への応募について報告があった。第 6 回杉浦地域医療振興助成の応募に漏れた場合、学会としての補助は困難である旨、櫻井理事長、那須理事より追加発言があった。
- 17) 支部組織・地域保健医療福祉委員会 (P. 57-63 平野委員長)
平野理事より、第 28 回学術大会シンポジウムの企画、支部長会の開催、支部長不在支部を解消し支部組織の活動を活発にしたい旨、報告があった。
- 18) 学会間連携委員会 (P. 64 服部委員長)
服部理事より活動方針に関して検討中である旨、報告があった。羽村副理事長、佐藤総務担当理事、森戸監事より歯学協、他学会との窓口役、厚労省との連携の推進をお願いしたい旨、発言があった。
- 19) 表彰委員会 (P. 65 米山委員長)
米山理事より優秀奨励論文賞の募集、優秀口演賞・優秀ポスター賞の一層の活性化、老年歯科医学賞、学会功労賞の選考について報告があった。櫻井理事長より、老年歯科医学賞の選考を進めてほしい旨、追加発言があった。
- 20) 規程委員会 (P. 66 高井委員長)
代理として佐藤総務担当理事より、協議事項の新規規定、細則の改正について確認した旨、報告があった。
- 21) 倫理委員会 (P. 67 角委員長)
代理として佐藤総務担当理事より、活動状況の説明があった。

- 22) 倫理審査委員会 (P. 68 山崎委員長)
山崎理事より、倫理審査の依頼があり迅速審査を行い条件付き承認した旨、委員会規程、申請書類の様式の検討を行っている旨、報告があった。
- 23) 利益相反委員会 (P. 69 羽村委員長)
羽村副理事長より「老年歯科医学研究の利益相反 (COI) に関する指針」、「学術大会演題登録時における COI の確認に関する申し合わせ」を作成した旨、報告があった。
- 24) 特任委員会 (P. 70 渡邊委員長)
渡邊理事より、「介護保険施設における歯科医師、歯科衛生士の関与による適切な口腔衛生管理体制のあり方に関する調査研究」が予定通りに進捗している旨、報告があった。
7. 日本歯科医学会報告 (櫻井理事長)
特になし。
8. 日本歯科医学会連合報告 (櫻井理事長)
佐藤総務担当理事より、タイムスタディが実施される旨、報告があった。
9. 日本歯学系学会協議会報告 (羽村副理事長)
羽村副理事長より今年度開催のシンポジウムに関する報告があった。
10. 歯学系学会社会保険委員会連合報告 (佐藤理事)
佐藤総務担当理事より、歯保連試案が発行された旨、報告された。
11. 日本老年学会報告 (櫻井理事長)
特になし。
12. その他
佐藤総務担当理事より、平成 29 年 6 月 13 日、15:00~理事会が開催される事が、確認された。
櫻井理事長より、平成 32 年に学会発足 30 周年を迎えるにあたり、記念会を開催する方向で検討している旨、報告があった。
小正理事より、多職種連携の観点から歯科技工士を是非、学会等に参加可能な方策をお願いした旨、発言があった。
那須理事より、千葉支部主催の第 1 回公開研修セミナーについて報告があった。

VIII. 閉会の辞

下山副理事長より、スムーズな討議、報告に対する謝意が述べられた。

<参考資料>

1. 平成 28 年度事業計画 (p.53)
2. 平成 28 年度予算 (p.54-55)
3. 支部長一覧 (p.56)
4. 関係団体担当一覧 (p.57)